

問 お問い合わせ



小川地域振興協議会の方々と懇談する市長

市長と地域ふれあいトーク  
小川地区を実施

実施日 9月26日

懇談の内容 市長は、JA福島さくらいわき梨選果場を視察し、JA福島さくらの職員から、令和元年東日本台風で被災した施設設備が復旧するまでの経過や梨の出荷状況などの説明を受けました。

また、小川公民館では、小川地域振興協議会の皆さんと、果樹農家の後継者の育成や若い世代が地域で子育てをしやすい教育環境の整備などについて懇談しました。

問 広報広聴課広聴係

☎ 22・7438



防災に係る連携と協力に  
関する協定を締結

締結日 10月3日

締結者 国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、市

取り組み内容 地域防災計画や本市の災害対策本部体制への助言、災害発生時の被害状況調査、震災デジタルアーカイブへの協力など

国立大学法人東北大学  
災害科学国際研究所

東日本大震災を契機に、被災地の復興・再生に貢献するとともに、国内外の大学や研究機関と協力しながら、自然科学災害に関する世界最先端の研究を推進している。

問 危機管理課危機管理係

☎ 22・1206



本市の防災に関する施策推進などを目的に協定を締結

常磐地区市街地再生整備  
基本計画を策定

本市の観光拠点である常磐地区の市街地再生の実現に向け「常磐地区市街地再生整備基本計画」を策定しました。この計画は、昨年5月に策定した「常磐地区市街地再生整備基本方針」に掲げた目標を実現するための具体的な取り組みを定めたものです。

今後は、魅力ある温泉観光地としてブランド化していく視点で各取り組みを進めていけるよう、専門家を交えた会議(\*)を開催しながら、温泉観光地としての「まちなり方」などを示す「いわき湯本温泉ブランド戦略」の策定を進めていきます。

問 都市計画課  
都市再生係

☎ 22・7513



湯本駅前緑地で遊ぶ子どもたち

\*こちらの内容は12月号で詳しくお知らせします。

11/11~17は  
税を考える週間  
中学生・高校生の税に親しむ  
キャッチフレーズ最優秀賞作  
品を発表!

●守りたい いわきの笑顔 納税  
で 中学生の部 北條奏さん  
(小名浜二中)

●納税で 愛するまちに 輝く未  
来 高校生の部 阿部奨正さん  
(磐城農業高)

私たちの身の回りには、健康で文化的な生活を送るため、さまざまな公共サービスが存在します。市でも、皆さんが安心して暮らしていくための事業を行っており、その内容は福祉や教育などさまざまですが、これらのサービスは市税で支えられています。この機会に、私たちが納める税の仕組みや役割などを考えてみましょう。

問 税務課税制係

☎ 22・7422



税を考える週間  
について詳しく  
はこちらをご覧ください

